

施策No.	政策名	生きがいを育む学びのまちづくり	主管課	スポーツ振興課	主管課長名	五十嵐 敦
2-4	施策名	生涯スポーツ活動の振興	関係課	企画課、健康推進課、学校教育課、生涯学習課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度		
	市民	①桜川市人口	見込値	人		41,278	41,008	40,027	39,571	38,118	
実績値						41,278	40,483	39,692	38,905		
見込値											
											実績値
スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている。		②週1回以上スポーツを行っている市民の割合	目標値	%		42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
						実績値	40.2	40.3	40.2	39.1	
			目標値								
		目標値									
											実績値
	目標値										
										実績値	278,000
	目標値										
										実績値	289,594
目標値											
									実績値	197	198
目標値											
									実績値	169	160
成果指標設定の考え方	○スポーツを通じて健康で明るい豊かな生活が出来ているかは、アンケートにより、①「週1回以上スポーツを行っている市民の割合」(実施率)と、②スポーツを日常的に行っている市民の中で、「スポーツを通じて健康で明るい生活を送っている」と答えた市民の割合」において把握する。										
	○対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ○①週1回以上スポーツを行っている市民の割合、②スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている市民の割合は、市民アンケートより求める。③市のスポーツ施設利用者延べ人数は、市内体育施設及び小学校体育施設使用許可申請書より求める。④スポーツ少年団登録指導者数は、スポーツ少年団の指導者登録人数より求める。										

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<p>○スポーツ実施率(週1回以上スポーツを行っている市民の割合)は、令和元年度40.2%、令和2年度39.1%と昨年度から1.1ポイント減少した。昨年度と比較して新型コロナウイルス感染症の影響により外に出る機会が減少したことが原因として考えられる。また、スポーツをしている人の中で、スポーツを通じて健康で明るい生活を送っている市民は、令和元年度59.8%、令和2年度58.6%と昨年度から1.2ポイント減少している。同様に新型コロナウイルス感染症の影響が出ているものと考えられる。</p> <p>○スポーツ施設の延べ利用者数は、令和元年度256,739人、令和2年度146,311人と減少し、前年よりも下回った。その要因は、新型コロナウイルス感染症拡大により施設を閉鎖したためである。</p> <p>○スポーツ少年団指導者数は令和元年度152人、令和2年度86人と減少傾向である。これは少子化によりスポーツ少年団の団体数や団員登録数の減少もその要因となっていると思われる。</p>		

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値のすべてを下回った	
背景・要因	<p>○週1回以上のスポーツ実施率の目標値46.0%に対して39.1%と6.9ポイント下回っている。</p> <p>○スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている市民の割合については、目標値68.0%に対して58.6%と9.4ポイント下回っている。</p> <p>○市のスポーツ施設利用者延べ人数は、目標値282,000人に対して146,311人と135,689人下回っている。</p> <p>○スポーツ少年団登録指導者数は、目標値199人に対して86人と113人下回っている。</p>		

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
<p>令和2年度、貢献した事務事業は「真壁農業者トレーニングセンター管理運営事業」、「総合運動公園管理運営事業」、「岩瀬温水プール管理運営事業」等であった。「真壁農業者トレーニングセンター管理運営事業」は、サーキットステーションを導入し、スポーツを楽しみながら健康づくりに取り組む人を増やしスポーツを実施する機会を設けた。</p> <p>「総合運動公園管理運営事業」は、安心してスポーツを实践できるように、テニスコート夜間照明のLED工事を実施し、スポーツを楽しむ機会と体力づくりの提供、さらに健康増進の促進を図った。</p> <p>「岩瀬温水プール管理運営事業」は、安心して水泳を楽しめるように空調設備を工事し、子どもから高齢者までスポーツを通じて健康で明るい生活が出来るようスポーツに取り組む人を増やし、スポーツ実施率を向上させる機会を設けた。</p>	<p>今後は、普段スポーツに取り組んでいない人なども対象に、健康維持や生活習慣病及び介護予防も視野に入れながら、関係各課と連携を図り、身近に出来るウォーキングや散歩などの普及・啓発や健康体操教室の開催等を行っていく。</p> <p>安全で快適にスポーツ施設が利用できるよう、老朽施設の修繕・改修を行うことにより、施設の充実を図る。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ「桜川スマイルクラブ」が平成22年10月に設立し、平成28年9月にはNPO法人化した。スポーツ実施率を向上させるには、各団体の連携が必要である。</p>